

生産資材部

鉄入り土づくり肥料 「田んぼマスター」のご案内

今年もまもなく米の収穫シーズンを迎えます。

おいしいお米を作る基本は「土づくり」ですが、知ってはいてもなかなか実践できないのも「土づくり」ではないでしょうか。

「土づくり」は通常の気象年はもちろん、異常高温や異常低温の時ほどその効果が発揮されます。県内の水田の地力が低下してきていると言われて久しいですが、土づくり肥料・堆肥やイナワラ等の有機質を施用して、「おいしい福島の水」づくりができる水準を維持していきましょう。

新商品の鉄入り土づくり肥料「田んぼマスター」は、従来の土づくり肥料とはちょっと視点が違う肥料です。ぜひ、来年作からお試ください。

【成分(%)】

リンサン 4 カリ 10
苦土 2 マンガン 1
ケイサン 14 鉄 10

【特長】

- 鉄分を10%と多く含み、ワキによる根の傷みを軽減します。
 - カリは、く溶性と水溶性を約半量ずつ含み、作期を通して働きます。
 - あわせて、放射性セシウム吸収を抑制します。
 - ケイサンは、倒伏軽減、病気や虫の害の軽減、高温時の葉の温度を下げる効果、食味向上効果等があります。
 - 苦土は、葉緑素の構成元素として光合成能を向上します。食味向上効果もあります。
- マンガンは、ごま葉枯れ病の予防に役立ちます。



営農企画部

土壌診断のすすめ

(農業技術センター 技術常任参与 荒川市郎)

土壌は、品質の良い農産物を安定生産する上で重要な要素の一つです。作付け前に土壌の理化学性を調べ、その結果に応じた土壌改良を実施し、バランスのとれた施肥設計を組むことは、生産性の向上や費用の削減ばかりでなく、環境負荷の少ない農業を実践する上でも大切なことです。

《土壌診断の手順》

- 土壌診断は、①地域の概要把握、②対象ほ場の特徴、耕種概要、肥培管理の聞き取り調査および採土、③理化学性の分析、④分析結果の比較検討と処方箋の作成、⑤改善対策の実施と効果の確認、という流れを繰り返すことになります。

この中で、①②⑤は、主に産地側で担当する業務です。③④は、農業技術センターなど分析機関が担当しますが、現地の課題解決のため、当センターが③の結果を基に現地を訪問し、J Aの担当者や生産者、指導機関を交えて④の処方箋作成を支援しています。

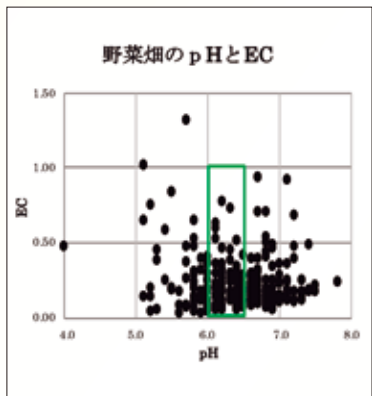
《産地における土壌分析の事例》

図は、野菜ほ場の分析結果の一部ですが、同じ産地内でも土壌の

pHとEC(電気伝導度)の関係に差があることがわかります。枠で囲まれた部分が基準値の範囲です。この例では、ECが適値より高いほ場が少ないことから窒素の過剰施肥は少ないと考えられますが、pHは基準値より低いほ場と高いほ場があることから、土壌に合わせた石灰資材の施用を調整する必要があります。

《分析値の活用》

理化学性の分析値は、表計算ソフトで管理されていますので、産地内では場間、産地間の比較、経年変化など、前記⑤と組み合わせることで、情報の「見える化」を推進し、元気な産地作りに活用されてはいかがでしょうか。



9月にお届けする材料を使用したレシピです

JA ふれあい食材
おすすめ
レシピ

黒酢の肉団子



- 材料は2人分が基準になっております。
 - 盛付例はイメージです。
- ※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

材 料

・麓山高原豚挽肉……200g
・生姜……10g
・玉ねぎ……1/4個
・いんげん……4本
・ミニトマト……8個
・塩、こしょう……各少々
・卵……1/2個
・片栗粉……大さじ1

・ごま油……小さじ1
・サラダ油……適量
A 黒酢……大さじ3
砂糖……大さじ3
しょう油、酒……各大さじ1
片栗粉……大さじ1
水……200cc

作り方

- ①豚挽肉はあらかじめ解凍しておく。
- ②生姜はすりおろし、玉ねぎはくし形、いんげんは斜め三等分、ミニトマトはヘタを取る。
- ③ボウルに①、塩、こしょう、生姜、卵、片栗粉、ごま油を加えて混ぜ合わせ、10等分に丸める。
- ④熱したフライパンに揚げ油を多めに入れ、③を180℃でカリッと揚げる。
- ⑤別のフライパンにサラダ油を大さじ1/2入れて熱し、玉ねぎ、いんげんを強火で炒め、Aを加えて弱火で煮て、煮立ったら④とミニトマトを加えて絡める。

今月の主な行事予定

9月2日	管理部	福島ユナイテッドFC ホームゲームPR
9月4日	米穀部	第2回米穀事業推進委員会
9月7日	燃料部	JA-SS夏のキャンペーン抽選会
9月9日	管理部	ふくしま道の駅・空の駅まつり
9月21日	畜産部	畜産女性研修会
9月22日	米穀部	富士シティオ稲刈りツアー(～23日)

ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

9月3日	燃料部	L Pガス光合成促進機について
9月4日	米穀部	営農相談室
9月10日	畜産部	家畜市場価格について
9月11日	園芸部	営農相談室(種苗情報)
9月17日	生産資材部	稲わら腐熟促進剤について
9月24日	米穀部	米麦袋・フレコンの取扱について

東北地方の長期予報



<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並の確率50%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

8月25日～9月24日

【気 温】 20 40 40

【降 水 量】 20 40 40

【日照時間】 40 40 20

<気温経過の各階級の確率(%)>

8月25日～8月31日

10 30 60

9月1日～9月7日

20 50 30

9月8日～9月21日

40 30 30

凡例： 低い(少ない) 平年並 高い(多い)
(仙台管区气象台 発表)

編集後記

9月になりました。旧暦では「長月」とも言いますが、夜が長くなる月「夜長月」が語源の一つなのだとか。

ほかに「稲熟月(いねあがりつき)」「小田刈月(おだかりつき)」など稲刈りの季節を表す呼び名や、「紅葉月(もみじつき)」「菊月(きくづき)」など、まさに秋を象徴する表現まで、様々な呼び名があるようです。自然豊かで四季折々の変化がある、日本ならではの表現かもしれません。

さて、その月名のとおり、9月はいよいよ稲刈りの季節です。猛暑に豪雨、そして台風と、厳しい気候条件が続きました。長月の「長」は、稲が毎年実ることを祝う意味もあるとのこと。なんとか今年も無事に「穂長月」を迎えられるよう、祈るばかりです。